

東京ふれあいマラソン

'98神宮外苑

12月20日(日)開催

ロードレース

「グループホームPWL」は、知的障害を持つ人たちが共同で生活する「ホーム」。彼らはスタッフのサポートを受けながらここから仕事に出かけ、また公共施設などを利用し文化・スポーツ活動をするなど余暇の充実もはかっています。

ここで生活する小池星子さん(19歳・横浜市)は、ホームの活動を通して覚えたスキーで長野パラリンピック6位入賞を果たした経歴の持ち主(クロスカントリイ5kmフリー)。その健脚を活かし、今度は「神宮外苑ロードレース」に初挑戦します。「長野の時も、最初はそれ

いっしょに走る・みんなで走る— Vol.4

「1番がうれしいけど…
3位までに入賞したいな」

◆お話し手 小池星子さん

ほどこやる気のある反応を見せなかつたのに、実際にやらせてみると相当な集中力を発揮しました。彼らの持つ「そうした」隠れた力「をいかに引き出すかも私たちの役目」と、スタッフの桑原由佳さん。口では「練習？ 疲れるからそれほど…」と照れる小池さんですが、実は懸命に走り込みをしているとのこと。今回も好結果が期待できそうです。



当日は午前9時15分から、国立代々木競技場を時差スタートランナーは神宮外苑周回コースをまわって再び競技場のゴールをめざします。星さんの熱い声援をお願いします。●お問い合わせ：神宮外苑ロードレース実行委員会事務局 TEL: 03-355034855



日本財団
The Nippon Foundation

日本財団は、競艇の売上3.3%をうけて活動しています